

アグリ・エコファンドの投資先決定について

当基金は、JA バンクの CSR 事業である「JA バンクアグリサポート事業」の一環として、「アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合」（以下「アグリ・エコファンド」という。）に有限責任組合員として参加し、農業振興・環境貢献に取り組む企業経営体を支援することとしています。

このたび、アグリ・エコファンドから以下の 4 社（累計 10 社）への投資が決定されましたので、その概要をご紹介します。

1. 株式会社 オンリー ジャパン ONLY JAPAN(茨城県)

- ・ 当社は、茨城県など 3 県で加工用野菜の生産および加工事業を営む農業生産法人ワールドファームが、販売機能の一元化や農業関連事業の拡大を目的として新設した法人です。
- ・ 若い世代の農業生産・経営に精通した人材育成、当社グループで蓄積するノウハウを活用したコンサルティング・業務提携などにも取り組むことで国産農産物・加工品の供給拡大を図り、農業を中心として地域産業が一体となって発展できる事業モデルを目指しています。
- ・ 当社の取組みは、農業生産の拡大や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

2. 北海道ワイン株式会社(北海道) <http://www.hokkaidowine.com/>

- ・ 北海道は日本一の加工用ぶどうの生産地であり、当社は、国産ぶどう 100%を原料とするワインメーカーです。原料生産からワイン醸造まで一貫して取り組んできた結果、国産ぶどう 100%のワイン出荷量は国内トップの地位にあります。
- ・ 「ワインづくりは農業なり」の経営理念のもと、原料となるぶどうは主として北海道内の直轄農場および契約農家で栽培されており、地域農業に貢献しています。
- ・ 北海道はアジア諸国からの観光客も多く、「北海道ブランド」を活かしたアジア向け輸出の拡大にも取り組むこととしています。
- ・ 当社の取組みは、農業生産の拡大や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

3. 株式会社TW北海道(北海道)

- ・ 当社は、IT技術を活用しハウス内外の作物生育環境を自動制御することにより、生産性向上と農薬・化学肥料の低減を可能とする生産システムの開発に取り組んでいます。
- ・ 当社システムは、成育に適した炭酸ガス濃度、土壌 pH、地温など多項目のパラメータを設定し、地下部(根)と地上部(作物)の環境を総合的に調整する点に特徴があります。当社では、システムの普及と同システムの利用先が栽培する野菜のブランド化を目指しています。
- ・ 当社の取組みは、農業の生産性向上・環境負荷軽減や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

4. ハンディテクノ株式会社(東京都) <http://www.handy-wood.com/>

- ・ 当社は、「燃やさない, 捨てない」という企業哲学を掲げ, 廃棄物となる木材とプラスチックを材料とする再生木材を開発し, その普及に取り組んでいます。
- ・ 当社の再生木材は, 高い耐久性とリサイクル性を実現した地球環境に優しい素材として注目されており, 南洋材の代替材として期待されています。
- ・ 当社の取組みは, 資源の有効利用と環境保全につながるものと判断し, 当ファンドからの投資を決定いたしました。

[参考:アグリ・エコファンドの概要]

名称	アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合
準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律
無限責任組合員	JAICシードキャピタル株式会社
有限責任組合員	日本アジア投資株式会社および当基金
出資金総額	21億円(うち当基金20億円)
投資対象	農業関連を中心に, 農業振興・環境貢献に資する取組みを行う企業経営体(株式未上場会社)
設立日	平成20年8月5日

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

JAバンクアグリ・エコサポート基金 保田 (Tel 03-5283-3700)